

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

広島県 地域ワークショップ 報告書

2019（平成 31）年 2 月 22 日（金）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」広島県ワークショップが開催されました。当日は、広島県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方 35 名（小学校 9 名、中学校 8 名、高等学校 17 名、特別支援学校 1 名）の方々にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2019（平成 31）年 2 月 22 日（金）13 時 00 分～16 時 30 分

会場：広島県立総合体育館 小会議室

主催：広島県教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：35 名

プログラム：

13:00～13:05 開会行事

広島県教育委員会事務局教育部 豊かな心育成課 学校体育係 係長 光橋 健 氏

13:05～13:20 平成 30 年度広島県コンソーシアム推進校事業について

広島県教育委員会事務局教育部 豊かな心育成課 学校体育係 指導主事 古井 友樹 氏

13:20～15:15 グループワーク：オリンピック・パラリンピック教育の今後の取組の充実について（校種別）

小学校担当 広島県教育委員会事務局 豊かな心育成課 指導主事 古井 友樹 氏

西部教育事務所 教育指導課 指導主事 山口 洋平 氏

東広島市教育委員会 指導課 指導主事 清田 美紀 氏

中学校担当 東部教育事務所 教育指導課 指導主事 土田 俊弘 氏

尾道市教育委員会 教育指導課 指導主事 松浦 淳 氏

福山市教育委員会 学びづくり課 指導主事 曾根 貴典 氏

高等学校担当

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 研究員 岡田 悠佑 氏

15:15～15:25 休憩

15:25～15:45 オリンピック・パラリンピック教育の今後の方向性について

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 研究員 岡田 悠佑 氏

15:45～16:15 オリンピック・パラリンピック教育の前提を考える

広島大学 大学院教育学研究科 健康スポーツ科学講座 教授 齋藤 一彦 氏

16:15～16:25 質疑応答

16:25～16:30 閉会行事

開会行事では、広島県教育委員会事務局の光橋健氏より挨拶がありました。光橋氏からは、本事業をスポーツの意義や価値を再認識する絶好のチャンスと捉え、特にソフト面のレガシーを広島県に残すことを目指して取り組んでいきたい、と本事業に対する想いをお話いただきました。

次に、広島県教育委員会事務局の古井友樹氏より、本年度の事業の振り返りが行われました。



光橋 健 氏



古井 友樹 氏

続いて、推進校の先生方に校種別に分かれていただき、グループワークが行われました。小学校グループでは、体育授業における態度の育成と関連づけたオリ・パラ教育の実施計画の作成、中学校グループでは、保健体育科を中心としたオリ・パラ教育の他教科への派生のさせ方に関する計画の作成、そして高等学校では、体育理論領域におけるオリ・パラ教育の実施計画の作成を行いました。



グループワーク①



グループワーク②

10分の休憩の後、本センターの岡田研究員からオリンピック・パラリンピック教育の今後の方向性についての講演がありました。本事業の概要や他地域の実践事例等について説明がありました。続いて、広島大学の齋藤一彦教授からオリンピック・パラリンピック教育の前提として、SPORT FOR TOMORROW やスポーツを通じた国際開発等について説明がありました。



岡田 悠佑 研究員



齋藤 一彦 教授



会場の様子